

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	下水道長寿命化対策事業			事業番号	35-102
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	土木部下水道担当	石井 啓治	下水道整備課	佐野 晃	

計 画 (Plan)

総合計画体系	都市力	まちづくり目標	4	住み続けたい快適で魅力あるまち	
		基本政策	9	快適で暮らしやすいまちづくり	
		施策展開の方向	16	便利で機能的なまちをつくる	
		施策	35	公共施設の効率的な活用と維持管理・保全の推進	
予算事業名	第2号公共下水道管渠整備事業費 第3号公共下水道管渠整備事業費				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→			法令上の位置づけ	実施する規定はない
事業開始年度	開始年度	平成29年度 ~		終了年度	-
関連法令等					
国・県の計画等	社会資本整備総合交付金(防災・安全)			計画期間	ストックマネジメント計画 平成31年度~令和5年度
関連個別計画	社会資本総合整備計画 伊勢原市安全で災害に強いまちの実現(防災・安全)			計画期間	平成28年度から令和2年度 令和3年度~令和7年度
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	伊勢原市の公共下水道事業は昭和46年度から実施しており、管路施設等の老朽化による管路の破断などによる機能低下や、道路陥没などが発生する可能性があるため、今後はライフサイクルコスト最小化の観点を踏まえ、耐震化等の機能向上も考慮した、長寿命化対策を含めた計画的な改築・更新を行う必要がある。				
目的 (何をどうしたいのか)	下水道ストックマネジメント計画に基づき、計画的な修繕等を行い、長寿命化を図ります。				
主な対象 (誰・何を対象に)	下水道ストックマネジメント計画に係る下水道施設(管渠、マンホール等)				
事業内容 (手段、手法など)	・下水道ストックマネジメント計画に基づき、改築・更新及び次期5カ年計画のための点検・調査を進めます。				
事業行程	項目	年度			
		令和3年度		令和4年度	
	第2号公共下水道	修繕工事 点検・調査		修繕工事 点検・調査	
	第3号公共下水道	修繕工事 点検・調査		修繕工事 点検・調査	
目 標	【指標名】	【現状値】	年度		
			令和3年度	令和4年度	
	長寿命化実施済率	45.9% (令和2年度)	53.7%	75.6%	



事業実施 (Do)

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	ストックマネジメント計画に基づき、下水道施設の修繕・改築及び点検・調査を実施します。		
実施方法 〔選択・記入〕	<input checked="" type="checkbox"/> すべて直接実施 <input type="checkbox"/> 左記以外		
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容
実施結果	項目	年度	
		令和3年度	令和4年度
	第2号公共下水道	点検・調査	修繕工事
	第3号公共下水道	修繕工事 点検・調査	点検・調査
実施した取組の内容	公共下水道長寿命化対策工事、公共下水道長寿命化対策調査・点検業務		
目標の達成状況	【指標名】	【現状値】	年度
			令和3年度
	長寿命化実施済率	45.9% (令和2年度)	51.2%
		令和4年度	
		66.1%	

コスト	年度		令和3年度 実績				令和4年度 実績				
	事業費合計 (a)		69,523		千円	99,515		千円			
内訳	国県支出金 ①		7,500		千円	25,000		千円			
	地方債 ②		50,500		千円	62,300		千円			
	その他特財 ③		0		千円	0		千円			
	一般財源 (a)-①-②-③		11,523		千円	12,215		千円			
	国県支出金の内容		社会資本整備総合交付金(防災・安全)25,000千円 補助率:国1/2								
その他特財の内容	受益者負担	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	前回の改定時期								
	その他										
人件費	正規職員		0.68	人	5,562	千円	0.53	人	4,542	千円	
	その他の職員		0	人	0	千円	0	人	0	千円	
	人件費合計 (b)		0.68	人	5,562	千円	0.53	人	4,542	千円	
	トータルコスト (a)+(b)		75,085		千円	104,057		千円			
単位当たりコスト	対象数	定義	改築計画延長				単位	改築計画延長			
		対象数	436		m	540		m			
	総事業費 /対象数	172,213		円	192,698		円				

評 価 (Check)				
進捗状況 [選択・記入]	<input type="radio"/> 計画どおり (A) <input checked="" type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	B	左記判断理由	スtockマネジメント計画に基づき、改築修繕工事および次年度以降に改築修繕を予定している箇所の調査・点検を実施しています。 長寿命化対策実施率が計画75.6%に対し、実施66.1%であることから概ね計画どおり進捗しました。
実施水準 [選択・記入]	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input checked="" type="radio"/> 一律に比較できない事業	—	他都市の事業内容等	各自治体によって、下水道施設の整備状況が異なることから、一律に比較できません。
有効性 [選択・記入]	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	管路施設の老朽化による管路の破損等により、機能低下や道路陥没などが発生する可能性があることから、計画的に事業を進める必要があります。
効率性 [選択・記入]	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	下水道事業の役割を踏まえ、持続可能な下水道事業を実現するため、ストックマネジメント計画に基づき、膨大な施設の状況を客観的に把握・評価を行い、長期的な施設の状況を予測しながら、下水道施設を計画的かつ効果的に管理することができます。



取組内容の改善 (Action) へ

取組内容の改善 (Action)	
所管部長による総評	全国的にも老朽化した管きよに起因する道路陥没等の事故が発生しています。本市においても設置後40年以上経過した管きよが多く存在していることから、道路陥没等の事故のリスクは高まっています。このようなことから下水道ストックマネジメント計画に基づき社会資本整備総合交付金を活用するなど、引続き管きよの長寿命化対策を進める必要があります。